

希望住宅				住宅	部屋番号			号
申 込 者	現 住 所	郵便番号				電 話 番 号		
		住 宅 の 種 類				名義人氏名		
	フリガナ				男・女	生 年 月 日	年 月 日	
		氏 名						
	勤 務 先 又 は 営 業 所	名 称				所 属	課 係	
		所 在 地						
		電話番号				勤 務 又 は 営 業 年 数	年 月	
	入 居 し よ う と す る 者	続 柄	氏 名	生 年 月 日	職 業	障害・特障・ 寡婦・ひとり 親等の有無	収 入 金 額 (年収)	※ 所 得 金 額
申込者本人								

照 合	政令の収入合計				※ 円		
入居しないが 所得税法（昭和40年法律第33号）上扶養 している親族	続 柄	氏 名	生 年 月 日	障害・ 特障の 有 無	備 考		
現在の住居に居住している期間____年____月 人員_____人							
現住居の 状況	住 居 別	自 宅 ・ 借 家 の 別	部 屋 数	畳 数	水 道	便 所	物 置
	(1)一般住宅 (2)アパート (名称) (3)そ の 他	(1)自 宅 (2)親族の家 (3)借 家			(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない	(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない	(1)ある (2)共同 (戸) (3)ない
借 家 アパート の場合		家主の住所_____家賃 月額_____円 氏名_____電話_____（水道・電気代別途____円）					
市 申 営 込 住 回 宅 数	真 庭 市 営 住 宅	年度	年度	年度	年度	計	回
	他市町村の公営住宅						回
	岡 山 県 営 住 宅						回
住 宅 に 困 っ て い る 事 情	(1) 住宅でない建物に住んでいる。 (2) 保安上危険又は衛生上有害な状態の住宅に住んでいる。 (3) 住宅がないため家族と別居している。他の世帯と同居し生活上不便である。 (4) 住宅が狭くて困っている。不完全な施設の住居に住んでいる。 (5) 立退要求を受けて困っている。 (6) 家賃が高くて困っている。 (7) 遠距離から通勤している。 (8) その他						
	上記の事情を具体的に記入のこと。						

現住居の平面図(間取りの概略を書くこと。)				現住居付近見取図(目標となる所を分かりやすく。)			
婚 約 証 明 書	申 請 者	住 所		婚 約 者	住 所		
		氏 名	⑩		氏 名	⑩	
		生年月日	年 月 日		生年月日	年 月 日	
	上記の両名は、年 月 日に挙式予定であることを証明します。 年 月 日 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名)						
	住 所		住 所				
	氏 名	⑩	氏 名	⑩			
記 入 上 の 注 意	(1) 現住所は住民票のとおり、電話番号は呼出し、内線番号についても記入のこと。 (2) 勤務先は正確な名称をはっきり記入のこと。 (3) 入居する世帯員の続柄、氏名、年月日は住民票のとおり、職業は具体的に記入のこと。 (4) 収入金額(年収)は、収入がある者全員について、給料、賃金、歳費、年金、恩給、賞与及びこれらの性質を有する給与のすべてを各々の会社、官庁で証明してもらい、その合計額を記入のこと。事業所得は、市町村で証明してもらうこと。ただし、1年に満たないものは、発生後分のみでよい。 (5) 現住居の状況は、該当欄を○で囲むこと。 (6) 住居に困っている事情は、該当欄を○で囲み、事情を具体的に記入のこと。 (7) 現住居の平面図、付近見取図は、明確に記入し、付近見取図に現住居をはっきり図示すること。 (8) ※印は、記入しないこと。						